

事務事業名		飯田産業技術大学事業		会計		一般会計		実施区分					
H28担当課等名		工業課		H28係等名		工業振興係		H27係等名		工業振興係			
基本計画上の位置づけ		政策 1		多様な産業が発展できる経済力の強いまちづくり		事業種別		政策		開始 12 終了			
対象(誰・何を)		地元企業の従業員及び経営者		目的		指標名及び単位		27年度数値					
意図(どうい状態にするか)		必要な技術及び経営管理能力を習得してもらい、企業の技術力向上と経営改善による体質強化することで、企業規模を拡大してもらいたい。		対象指標		工業統計による事業所従業員数(飯田下伊那地域)		15514					
向上させたい上位施策の成果指標		既存事業者の出荷額(工業) 飯田下伊那(億円)		対象指標		経営者数(飯伊地域)		486					
種別		指標名及び単位		27年度計画		27年度実績		28年度計画		28年度見込み		備考(指標変更など)	
成果指標		受講企業数		220		230		250		280			
定性目標													
事業概要		<p>複数の大学や地元の専門校や職業高校、支援機関等から講師を招き、地元企業(主に製造業)の従業員、経営者を対象に基礎技術や経営管理能力を学ぶための各種講座を開催する。                  平成20年度より情報産業人材育成事業も含め事業展開する。                  平成20年度より研究開発の支援も行う。                  平成25年度よりEMCシンポジウムも人材育成の一環であることから、飯田産業技術大学事業に統合した。</p>											
事業内容		名称		活動指標									
27年度事業内容		1 大学・支援機関等と連携し、年間を通しての3分野の講座を実施する。 (1)技術講座(初級・中級・上級) (2)経営講座 (3)企業ニーズに沿った特別講座の開催 (4)特別講座として信州大学「特別な課程」1年コースの開講 2 EMC技術者の育成支援 (1)EMC委員会の開催 (2)第16回EMCシンポジウムIIDA2015の開催		1 延べ受講者数 開講講座(回数) 2 (1)EMC委員会回数 (2)EMCシンポジウム参加者数		1 1,021人 31講座 2 (1)4回 (2)107人							
事業コスト		26年度決算額		27年度予算額		27年度決算額		28年度予算額		特定財源内訳、補足			
事業費計(千円)①		2,700		2,700		1,635		2,700					
国庫支出金													
県支出金													
起債													
その他													
一般財源		2,700		2,700		1,635		2,700					
人件費計(千円)②		1,073		1,073		300		300					
正規職員所要時間		300		300									
臨時職員所要時間													
総事業費①+②		3,773		2,700		2,708		2,700					
事業内容・目標達成状況の振り返り		31講座(技術・経営・特別講座)を実施することができた。特に技術講座では、飯田技術専門校の汎用機械を有効活用し、外部講師による実践的な研修を行うことができた。また、出前講座として飯田コアカレッジの学生に対して三次元CADの初級講座を実施することができた。											
改革改善の考え方		①問題点 講座により参加者数にばらつきがあり、参加者数の少ない講座は内容について検討する必要がある。また、EMCシンポジウムについては、地域外からの参加者が固定化している。 ②改革提案 講座内容の検討については参加者アンケートのみならず、参加企業等のヒアリングにより要望を把握しながら事業運営に反映していきたい。また、EMCシンポジウムへの地域外からの参加者を増やすため、事前告知等PRに努めていきたい。											